

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	環境共生都市を目指している市の事業の一環として、環境にやさしい企業づくりの必要性は高い。	● 高 ○ 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	継続することにより、環境負荷の軽減につながるため、有効性は高い。	● 高 ○ 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	企業が地域で活動を行っていく上で環境的側面からも必要な事業であり妥当性は高い。	● 高 ○ 中 ○ 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	環境共生型企業懇話会は、ISO取得企業が中心となって設置運営されているため、効率性は高い。	● 高 ○ 中 ○ 低
今後に向けた課題の分析 懇話会への参加企業の拡大、またISO以外の他の環境マネジメントシステムにも補助対象を拡大したため制度の周知に取り組む必要がある。				

3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成17年度 決算額	平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 予算額	平成21年度 計画額	平成22年度 計画額	平成23年度 計画額
事業内容				懇話会・環境フェアの開催、取得費の助成	懇話会・環境フェアの開催、取得費の助成	懇話会・環境フェアの開催、取得費の助成		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	2,389	1,570	1,570	0	0
事業費 (A)		0	0	2,389	1,570	1,570	0	0
執行率 (%)		0.00	0.00	152.17				
内訳	職員 (人)	0.00	0.00	0.35	0.35	0.35	0.00	0.00
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		0	0	2,937	2,937	2,937	0	0
フルコスト (A+B)		0	0	5,326	4,507	4,507	0	0

4. 今後の事業展開 (担当課としての提案)

平成21年度の事業の方向性	
● 現状の規模で継続 ○ 拡大して継続 ○ 縮小して継続 ○ 廃止 ○ 休止 ○ 終了 ○ 他事業と統合	
<判断理由> 環境にやさしい企業づくり促進事業は、企業活動及び環境負荷の軽減に重要であるため、現状の規模で継続する。	
平成21年度取組方針	
環境共生型企業懇話会等を計画どおり開催し、企業間の情報交換に努めるとともに、ISO等の認証取得支援を行い、環境にやさしい企業づくりを推進する。	
課長コメント	環境負荷の軽減、地球温暖化防止のためにも環境にやさしい企業づくりの推進は重要視されており、環境に配慮した製品の研究などを協議する環境共生型企業懇話会の開催や企業のISO等の認証取得の支援は必要であるため、この事業は継続していく。しかし、環境部の事業と重複する部分もあるので、今後、環境部と協議する必要があると考える。